

# 関西石川県人会連合会 県人会だより

2021 年度

- 会長ご挨拶
- 県人会だより
- 市町だより
- 県だより
- 県事務所だより



関西石川県人会連合会  
会長 井上 作雄  
(平成29年6月就任)



令和3年4月6日 大本山總持寺祖院能登半島地震復興落慶法要（写真提供：輪島市）

# 会長ご挨拶

## 関西石川県人会連合会

会長 井上 作雄

関西石川県人会連合会の皆様方にはお元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。

また、日頃から県人会連合会の活動にひとかたならぬご支援、ご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの猛威はとどまりません。四月以降、関西での感染は、首都圏を超えるペースで拡がり、遂には四月二十五日、京都府、大阪府及び兵庫県に再び緊急事態宣言が発出されたところであります。

人流の抑制を要請されていることもあり、やむなく昨年に引き続き、定時総会は中止とすることを決断することになりました。今年こそは、コロナ禍を切り抜けた会員の皆様方と顔を合わし、お互いの健在ぶりを確認する場と考えていただけに、残念でなりません。

コロナの克服の切り札の一つは、ワクチン接種となるかもしれません。四月以降、高齢者の接種が始まり、皆様の中にも既に接種を受けた方もおられると思います。可能な限り接種され是非本年十月に輪島市内で開催される全国石川県人会大会で、「関西石川

県人会連合会、ここに在り」とその結束を示そうではありませんか。

その全国石川県人会大会でございませうが、旅程をはじめ、参加に向けた準備を進めているところであります。近々皆様に詳細をお示しできるかと思えます。一人でも多くの方にご参加いただき、会の盛り上がりにご尽力いただければうれしく思います。

ふるさと石川では、これまで北陸新幹線が、観光産業を中心に地元経済を牽引してきましたが、昨年の石川県内全線及び敦賀開業予定の一年延期は、コロナと共に、冷水を浴びせられる出来事でした。

この決定が、沿線住民の長年の悲願である北陸新幹線のフル規格による大阪までの全線整備に遅れをもたらすことになつてはなりません。連合会としても、北陸新幹線早期全線開業に対する思いを幅広く発信し、関西での機運の醸成につなげていきたいと考えております。

結びに、会員の皆様のご健勝ご多幸をお祈りいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

# 県人会だより

新型コロナウイルスの影響もあり、会員団体の会合も中止など影響を受けております。そこで、会員の皆様から寄稿を募り、石川とのつながりや近況について報告をいただきました。

## 石川県の歌作り

川原 英子

私は宝達山の麓、宝達志水町(旧押水町)の冬野で生まれ、高校卒業後は二十年余り、金沢で暮らした。

平成元年に関西へ出て、歌詩を作るプロ作詞を生業とし、現在に至る。

ペンネーム花咲ひみこ、川原英子もセカンドペンネームで使っている。

主な活動はプロ歌手への作品提供、「作詞教室」開講、歌作りグループ「花咲俱樂部」の主筆、歌の催しの開催等々。また平成二十一年「日本作詩大賞最優秀新人賞」も受賞。

そして何よりも光栄で、嬉しかったのは平成二十七年開校の「宝達中学校」校歌の作詞をさせていただいたこと。開校式へ招待され、生徒さん達が歌った校歌を聞かせていただいたときの感動、感激、心の宝です。

現在作詞活動は新型コロナウイルスの影響で、歌の催しや作詞教室は休業状態。そこで今年一月より我がブログの項

目に「石川県百景」というのを加えた。石川県がらみの作詞を百作品、写真も添えアップするという試み。コロナ終息の折りには歌仲間を誘い、歌作り旅を再開したい。

四月現在までに十七作品アップ済みだが、百作品までは長い道のり。ご当地ソング作詞の第一歩は、現地を踏み、その空気感を肌で感じて浮かぶ言葉の断片を掴み、切り取る。はやくコロナが終息し、メモ帳片手に故郷へと切望する昨今です。

添付の写真は、一昨年の歌作り旅で、七尾の「花嫁のれん館」へ行った折り、花嫁に変身した私。嬉し恥ずかし七十分の花嫁姿。花嫁のれんの歌も何作か作詞しています。

「観光特使」を拝命の私。我が作品がPRの一助になれば幸いです。コロナ禍の中、益々つるの故郷への想い。県人会や同窓会など、故郷がらみの集まりの再開も楽しみです。





矢部 秀幸（松島 ひで夫）

石川県人会の矢部秀幸です、能登町（旧能都町）出身で漫才師の芸名松島ひで夫です。コロナ禍で皆さん大変だと思えます。私も舞台は殆どキャンセルの状態で、芸人になって三十二年初めての事です。

能登町宇出津で生まれ中学卒業まで過ごした町で夏は家の前の海で泳ぎ、冬は家の前がかまくらを作り毎日近所の友達と日が暮れるまで遊び宇出津の祭りあれば祭りで育ちました。

高校は金沢で三年間過ごし、現在も実家があり母親が住んでおり親戚もいっぱい、同級生もいっぱい暮らしております。

そんな田舎の能登から芸人を目指し大阪へやって来ました。小さい頃からお笑いが大好きで、小学生の頃はテレビでやっていた吉本新喜劇のあっちこっち丁稚の間寛平、坂田利夫、木村進（博多淡海）が大好きで毎回欠かさず見ていて、「ああいう楽しいことをやりたいな」と漠然と思っていました。そんな時ちょうど中学、高校時代に漫才ブームがきて横山やすし西川きよし オール阪神巨人 島田紳助 竜介 B&B ザぼんち ツービート 太平サブローシローなどなど

この時に僕も漫才師になると強く思いました。親に大学進学を勧められ仕方なく大学受験、もちろん大阪の大学へ大学ではその時代はお笑いサー

クルが無く演劇部に入る。演劇部の顧問の先生は本格的な映画監督、演出家で「私は貝になりたい」と言う映画監督、演出家であり。お笑いとかけ離れていました。そんな時ミニミでスナックのアルバイトをしており、そのアルバイト先に吉本新喜劇のチャンバラトリオのお弟子さんが働いており、すぐに意気投合：この後色々有りますが文字数があり終わります。NHK新人上方漫才奨励賞受賞の話もしたい。

### 元会長松島信雄様偲ぶ会開催

令和二年十月十八日、九十三歳の生涯に幕を下ろされましたところ、関係者各位の皆様より松島様の功績に偲ぶ会開催の要請が多数寄せられました。

そこで、三月十日ホテル日航大阪にて三部会発起人による偲ぶ会開催の運びとなり、大阪能登互助会山本三郎会長を代表者に選出し、能親会・関西羽咋会三部会協力による開催となりました。

式典に先立ち、献花に三部会様・加賀浴友会様・大浴様、献茶に、元芝苑女将久島真知子様・裏千家淡交会の島村裕史様の献茶により出席者五十名の式典に対して、挨拶に喪主様・来賓

に県人会会長井上作雄様よりお言葉を頂戴し、故人の思い出に少しでも恩返しのお言葉の式典でした。

（能登互助会副会長 谷内田栄次）



### おくやみ

萬喜 裕基氏

（理事 南大阪石川県人会）  
令和三年三月六日逝去

謹んでお悔やみ申し上げます。

### 市町だより

#### 〇七尾市

昨年度から国史跡「七尾城跡」の中心部となる本丸跡周辺で、初めて本格調査を開始しました。調査では、異なる三つの遺構が地層から確認されるなど、着々と実態が明らかになっていきます。

七尾城跡には、広範囲に積まれた戦国時代を偲ぶ石垣や本丸跡から見下ろす七尾の景色など、ここだけの見所が満載です。ぜひご家族そろってお越しください。

## 県だより

地元いしかわのブランド農林水産物を食べて応援してください！

### 〇ルビーロマン

石川県が十四年の歳月をかけて開発したブドウで、石川県でしか栽培されていません。甘くてジューシーな美味しさはもちろんのこと、巨峰の約二倍になる粒の大きさ、そして鮮やかなルビー色など、まさに「夢のブドウ」です。出荷時期は七月中旬から九月下旬頃になり、百貨店等で販売されます。



### 〇ひやくまん穀

石川県が九年の歳月をかけて開発した米の新品種。大粒で食べごたえがあり、冷めても美味しいことが特長です。

主に県内を中心に販売されており、主ですが、関西でも、大阪いずみ市民生協の宅配サービスで定期的に販売されています。

また、米心石川ネットショップ (<https://www.beishin-net.shop/>) では、精米だけではなく、電子レンジで簡単に調理できるパックご飯もお問い合わせいただけます。



### 〇百万石乃白

石川県が十一年の歳月をかけて開発した酒米の新品種。削っても割れにくいことから、大吟醸酒（五十%以上削ったお米で作った日本酒）に適する加工適性の高さが特長で、すっきりとした味わいとフルーティで香り高い日本酒に仕上がります。県内の酒蔵の皆様からは、「綺麗な日本酒ができる。」「様々な可能性を秘めた『ダイヤの原石』と評価されています。百万石乃白を使ったお酒は、ご自宅用はもちろん、贈り物としてもオススメです。



## 県事務所だより

### みちまちのご紹介

県事務所では、毎月中旬～下旬にかけての約二週間、北新駅そば曾根崎地下歩道「そねちか」で開催される各地方の宣伝紹介コーナー「みちまち」において、能登、金沢、加賀、白山の紹介ポスター、パンフ設置の他、県内移住相談窓口の紹介、県人会々員の募集を行っています。

事務所にお立ち寄りの際、一度足を運ばれてはいかがでしょうか。

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催が中止になる場合がございます。

